

# 全学斗通信

NO. 4

全学斗争委员会情宣機  
関紙、全学事務局発行

## 理ストを突破口に全学スト実現を!

官憲の不当弾圧をはねのけ

登校された全ての学友諸君、我々は昨日、我々の斗争の今後の展望に決定的な意味を付与するであろう決定的な斗争を闘い抜いた。我々は、その折り南から北の局面を痛確に把握し、勝利へ向けて前進しようではないか!

### へ理学部スト権確立す

我々は、まず一定に悲觀視されていたところの我々の全学ストへの展望が、我々の奮闘により打破され、闘いの正負的な再発の高揚が形成されようとしていることとをまず報告したい。初めそれは、昨日の理学部学生大会において、本日より二十五日までのストライキ突入が大衆的に確認されたことである。

我々はこの理学部スト突入が、期限つきであり、又本館封鎖に対して奮闘な支持を表明してはいるが一定の限界が存在するとしても、**①文学部の孤立したスト斗争にこのうえない援軍であること。****②更に、表** 青学部のスト突入、全学ストへのインパクトをあたえ、**③推進派の拠点である理学部に打ち込む必要を反響する闘いが組織されること**は、移転増進派に対して大きな打撃となる、という意味においてこのストに強く支持の意を表したい。更に我々は二十五日の学生大会において、「試験阻止」「無期限スト」を理学部学生が圧倒的に確立すべく強く働きかけた。い。

### へ全学ストの明確な展望の下

#### 昨日、全学斗へ結集せよ!

更に我々は昨日の理学部学生大会において、これまでの日和見主義的執行部を乗りこえるべき先進的部隊が形成されつつあるということを述べた。それは、学生大会の結果(交渉養成一三、対策養成一〇九)にも示される如く、運動主体はもとより、大衆的支持においても執行部を圧倒しつつある。そして我々がこゝで強調したいことは、これらの先進的学友が明確に我が全学斗の方針のもとに結集する部分であるということである。我々は全学斗争委員会結成以来、斗争

の全学化のため毎日努力してきたわけだけれども、その具体的成果は昨日の学生大会で明確になったと考える。更に現在学内の状況は、**①理学部の説明会三百余名の学友が結集し、大衆的に調査設計上の疑義性を暴露し、教育学部においても心理の学部生、院生を中心とした「授業ボイコット斗争」が展開され、この理学部のスト突入も加えて再度大きな流動化が注目しようとしている。**この全学的な流動化をめぐって全学スト、試験阻止、更に大衆団交実現目指して固定化していくために、再度この全学斗争委員会の重要性を認識し、結集することをお勧めしたいと考える。全ての斗争者は二十四日の全学総決起突入に結集せよ!

### へ推進系官憲の一体化したスト破壊

我々を断じて許すな! すでに明らかになっていると思われ、昨日の若狭会主催の「女児説明会」に抗議に行った一学友が、持ちかまえた機動隊逮捕された。我々は昨日の「説明会」というものが、明らかにこの向のスト破壊の環として存在しており、へ招請が多見れ、すでに明らかである。我々は、それを我々の説明会にすべく、**①文学部を中心とする各の先進的学友が各の「私学生会館」へ向かったのである。**しかし、そこにおいて我々の様々な大衆的な抗議行動、説明会に對し、若狭会はふつたりと暴徒の威嚇に何ら応えよくしないばかりか、我々を中から一学友を不当に逮捕し、多数の学生に乱暴を加えたのである。

このこと明らか、現在の移転増進派も、もう学内だけの権力では、我々の斗争を抑止することが不可能となり、国家の直接的な介入なくしては、もう一歩進歩の更強化を押し進めることが出来ぬ。これを意味している。我々はこの不当弾圧に對して徹底的な弾劾の争をあげると同時に、このこと、筑波移転問題をかり離すとなく、あくまでこの闘いを、本館封鎖、試験阻止、全学ストへの闘いへと収斂し、ゆく必要があるだろう。